



- 1 位置 県日野郡日南町下石見字柳ヶ谷山
- 2 規模 152,453 m²
- 3 団地事業概要
- | | |
|------------|-----------------------------|
| 工場用地面積・区画数 | 64,455 m ² (6区画) |
| 道路施設 | 11,265 m ² |
| 水路施設 | 1,237 m ² |
| 緑地等 | 75,496 m ² |
| 事業費 | 138,878 千円 |
| 用地費 | 35,047 千円 |
| 調査・整備費 | 103,831 千円 |
| 事業期間 | 平成 11 年度～平成 18 年度 |



(目 次)

株式会社米子木材市場生山支店	2 ページ
山陰丸和林業株式会社生山事業所	4 ページ
株式会社オロチ	5 ページ
日南町森林組合木材団地事務所	7 ページ
日南町木材生産事業協同組合	7 ページ
日南町バイオマス活用協議会	8 ページ
NPO フォレストアカデミージャパン	9 ページ
日南町の林業政策等について	10 ページ
日南町の林業後継者対策について	13 ページ
(株)グリーンシャイン、日南町地域振興公社	
統計データ等日南町の森林について	14 ページ
地域の概要、位置図、区画配置図	16 ページ

㈱米子木材市場生山支店

本社：鳥取県米子市泉 706-216

代表取締役 吉岡 朋美

TEL 0859-27-0721、FAX 0859-27-0729

生山支店 鳥取県日野郡日南町下石見 1829-109

TEL 0859-83-1228



1 施設設置目的

木材団地移転に伴う現有施設の移転

2 施設の種類、仕様材料の種類、数量および生産品目、数量

(1) 施設の種類

事務所 1 棟、車庫 1 棟、原木仕分け機一式、原木仕分け機上屋棟

(2) 生産品目、数量

原木市売り業務、年間取扱量 約 4 万 m³

3 施設の構造及び施設の概要

(1) 施設の構造

・事務所	木造平屋建て鉄板葺	床面積	約 160 m ²
・車庫	木造平屋建て鉄板葺	床面積	約 100 m ²
・原木仕分け機	動力 38 Kw	長さ	約 75m
・原木仕分け機上屋棟	木造平屋建て鉄板葺き	床面積	約 100 m ²

(2) 設備の概要

浄化槽、電気設備、給排水設備

(3) その他

- ・アスファルト舗装
- ・外構工事

排水溝工事、木屑(皮)回収トラップ柵設置

・丸太止め工事（鉄骨柱） 40か所

・給水タンク設置（500リットル）

4 法令等の許可等の種類及び手法の実施方法

特になし

5 施設の作業の時間帯及び作業を行わない日

・就業時間 午前8時～午後5時

・作業を行わない日 日曜日、祝日

盆（8月14日～16日）

年末年始（12月30日～1月4日）



山陰丸和林業(株) 生山事業所

本社：島根県松江市西津田一丁目2番14号

代表取締役 北岡 浩

TEL 0852-23-1300、FAX 0852-23-1304

事業所：(鳥取県) 生山・境港 (島根県) 加茂・金城・日原 (岡山県) 勝山
(福井県) 小浜 (京都府) 宮津・舞鶴 (兵庫県) 姫路・市川



新生山工場の基本構想

1 工場沿革

昭和38年7月 操業開始 (鳥取県日野郡日南町生山397番の1)

2 新工場の概要

名称	山陰丸和林業株式会社 生山事業所
所長	黒田 幹也 (社員数 12名)
住所	鳥取県日野郡日南町下石見柳ヶ谷1829番25号
工場敷地面積	10,134 m ²
概要	製紙およびボード用原料チップの生産・販売 木質燃料の生産・販売 産業(一般)廃棄物[木くず]中間処理業、および収集運搬業 山林伐出・造材・(土木) 架設作業・紙製品販売 など

3 施設概要

- (1) チップ工場 1,055 m²
- (2) リサイクル工場 1,479 m²

4 製品生産量

- チップ 15,400 m³
- 木質バイオマス (燃料系) 15,500 m³
- 木質産業廃棄物受け入れ 12,000 m³+205 トン

株オロチ

住所 鳥取県日野郡日南町下石見1843-103

代表取締役 森 英樹

TEL 0859-83-6123 FAX 0859-83-6100 HP <http://www.orochi-lvl.com>



1 設置目的・事業概要

- ・平成17年7月、日南町が地域再生計画（「地球環境にやさしい新森林業の形成」）の認定を受けたことが背景
- ・森林業・木材加工業の振興や、地域の活性化(雇用の創出)および、森林資源の有効活用を図るため、「LVL(単板積層材)の製造と販売、木質バイオマスの利活用技術の研究と開発など」を目的に「株式会社オロチ」を平成18年1月設立。
- ・町の地域財産であるスギから、住宅などの柱や梁、下地材になるLVL製品を最新鋭の技術で製造販売を行う
- ・森の木一本一本を大切に、高品質・高付加価値商品として提示に低価格でお客様へお届けしたいと考えている。さらに、森から木が持続的に生産され続けることで健康な森が作られ、地球にもやさしく、地域も活性化されると考えています。

2 施設の種類、仕様材料の種類、数量および生産品目

- ・施設の種類・・・LVL(単板積層材)製造工場、事務所(休憩室含む)ボイラー室
- ・工場での仕様材料の種類・・・スギ丸太他(フェノール樹脂系接着剤)
- ・生産品目・・・木質建材(木材加工製品)「LVL製品」
- ・数量・・・使用原木量 50,000 m³/年
製品量 25,000 m³/年

3 施設の構造及び設備の概要

- ・敷地の構造 鉄骨平屋建て 176.0m×39.9m=7,022 m²
- ・設備の概要 LVL製造機械・単板製造機械・乾燥装置・木質ボイラー等

4 法令の許可等の種類

法規	対象	関係所轄
労働安全衛生法	木質ボイラー	米子労働基準監督署
大気汚染防止法	木質ボイラー	日野保健所
水質汚濁防止法	蒸煮水・木質ボイラー	日野保健所
消防法	50t/日以上木屑・接着剤(指定可燃物)	消防署
騒音・振動規制法	当町は指定地域外	日野保健所

5 施設の作業の時間帯及び作業を行わない日

- ・作業時間帯 フル操業時 24時間(3シフト)
- ・休業日 土・日・祝日および特定休日

特記事項

JAS認定等

スギ LVLのJAS認定	平成20年10月12日取得
優良木質建材AQ認証(土台等に使用される防腐防蟻加工)	平成20年10月1日取得
ヒノキLVLのJAS認定	平成22年10月12日取得
国内クレジット	

LVL材使用建築物事例

(ハヤシホーム 鳥取)



(妖怪工房 境港)



(パセオ住宅 日南)



(個人住宅 出雲)



(あさひの郷 日南)



日南町森林組合 木材団地事務所

代表者 代表理事組合長 入澤 宏 組合員数 1,513 人
 組合員所有森林面積 14,594 m² (町内民有林のうち人工林面積 18,061 m²)

事業実績 (H22年3月期決算) 643,331 千円

指導事業			5,700 千円
販売事業	販売・林産取扱量	22,741 m ³	69,630 千円
	建設	14 件	36,100 千円
	加工	16,758 m ³	166,450 千円
森林整備事業	森林整備		272,500 千円
	利用		41,730 千円
	購買		51,200 千円

特記事項

FSC 森林認証 日南町有林等 2,615ha (平成22年3月3日認証を取得)
 木材団地事務所の施設



バーカー



材積写真測定システム

日南町木材生産事業協同組合

住所 鳥取県日野郡日南町下石見 1843-1

代表者 代表理事 浅川 三郎

組合員数 24 団体

設立 平成21年10月23日



バックホー0.28m³ 5台



ハーベスタ K E T O100 4台



フォワーダー4t積	3台	台車	2台
高性能林業作業機械導入			
総事業費	135,643千円		
基金補助金	67,820千円		
町補助金	27,127千円		
(補助金合計)	94,947千円)		

日南町バイオマス活用協議会

会長 森 英樹

会員 鳥取県、日南町、日南町森林組合、日南町木材生産事業協同組合、(株)オロチ、
米子木材市場生山支店、山陰丸和林業生山事業所

本協議会は、企業や研究機関及び関係団体等の連携を促進し、木質バイオマス分野の研究開発等を促進させるとともに、日南町を中心とする中国山地におけるバイオマスの利活用を促進させ、関連技術等を確立し、ひいては新産業の創出に資することを目的とする。

(1) 実地調査活動

地域に豊富に存在する木質バイオマス資源の賦存量とその利活用状況の調査、研究

(2) 情報交換活動

木質バイオマスの利活用を促進するための情報の交換及び提供

(3) 実証試験等事業等への取組

前項に基づく実証試験等各種事業への取組の促進及び実施

その他協議会の目的に資する活動

「鳥取県バイオマス研究調査事業」(鳥取県からの補助事業)

平成23年度木質バイオマス発電・熱供給等事業化調査・実証試験事業 4,700千円

木質バイオマス発電・熱供給施設事業化調査 3,300千円

平成22年度の検討結果、試験結果にもとづき、導入する施設、システムを絞り込み、各システムの詳細なシミュレーションを実施し、検討する。

木質バイオマス供給実証試験 1,400千円

平成22年度に引き続き、木質バイオマス供給システムの低コスト搬出システムを構築するため、実証試験を実施する。

NPO 法人 フォレストアカデミージャパン

所在地 鳥取県日野郡日南町下石見 1 8 4 3 - 1

代表者 理事長 矢田 治美

TEL 0859-83-0211 FAX 0859-83-0212 E-mail forest-a-j@sea.chukai.ne.jp

法人登記 平成22年10月5日

設立目的

日南町及び日野川流域等において森林・林業・木材産業に携わる者及び関連する事業者等に対し、地域産業の育成及び雇用機会の拡充支援、地域の森林資源の利活用と関連シーズの研究・開発並びに宣伝活動等の支援を行うほか、適正な森林環境の保全・整備を進めることを通じて、広く森林・林業・木材産業の活性化と地域住民にとって豊かな環境のまちづくりに寄与する

活動内容

- ・まちづくりの推進を図る活動
- ・環境の保全を図る活動
- ・経済活動の活性化を図る活動
- ・職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- ・上記に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡・助言又は援助の活動

日野川産材流通促進機構

基金管理を NPO 法人フォレストアカデミージャパンにおいて行う

設立目的

森林の有する多面的機能をより高度に発揮し得る健全な森林の保全及び、それを支える林業の安定的発展に寄与する

活動内容

- (1) 日野川産材の需要拡大
- (2) 研究機関、設計事務所、工務店との組織的連携
- (3) 素材生産活動の安定化に対する支援対策
- (4) 森林整備に対する国民参加の促進
- (5) 関係機関への陳情・要望活動
- (6) 環境意識の高揚
- (7) その他本機構の目的を達成する為に必要な事業

後継者対策助成事業実績

平成21年度後継者対策助成	3事業所5名
平成22年度後継者対策助成	4事業所6名

第2章 日南町の概況と課題

1. 日南町の地勢等

位置は中国山地のほぼ中央で、西は島根、南は岡山、南西部は広島と3県に接し、山陰・山陽を結ぶJR伯備線の要路となっています。陰陽をつなぐ横断道整備が進む中、鳥取と広島、島根と岡山の各県庁所在地を最短でむすぶルートがクロスする位置にあります。現在の道路網は道路距離では中核都市である米子まで37.5km、県庁所在地の鳥取市まで128.0km、岡山市まで110.0km、広島市まで148.5kmとなっています。また、自家用車での所要時間は中国道新見ICまで35分、米子道江府ICまで30分となっています。

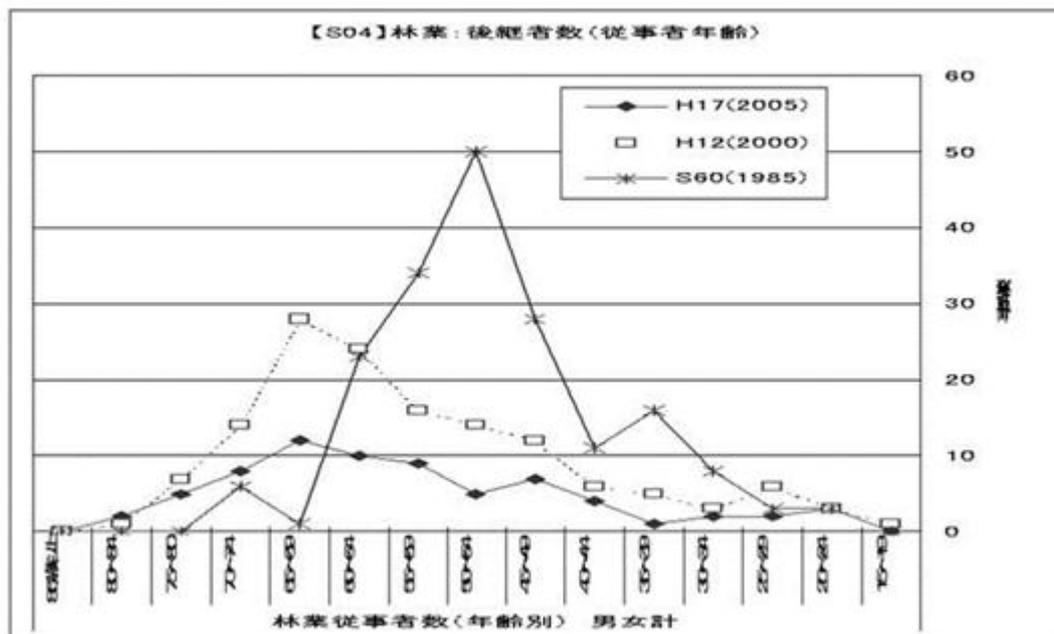
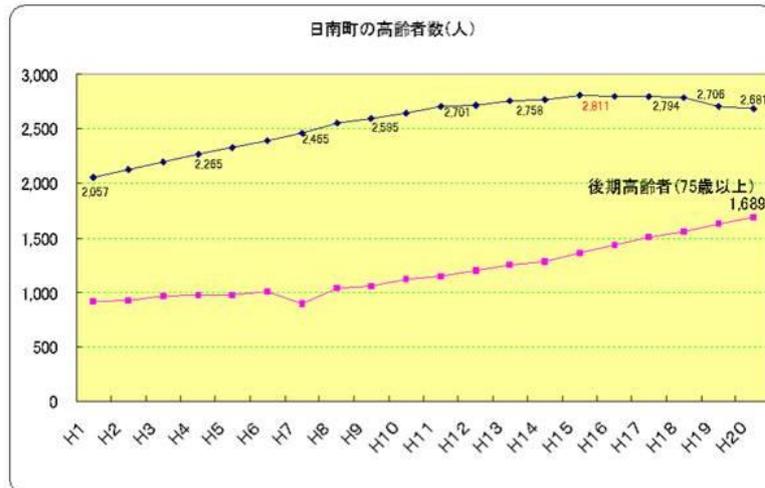
面積は東西に25km、南北に23kmという広がりを持ち、総面積は340.87k㎡です。気象は裏日本型気候区の中国山地型気候で、平均気温は標高490mの地区で約11度、降水量は年約2,000mmで、冷涼多雨な気候です。降雪期間は12月から3月で、多い地区で1.0m～1.5mの積雪があります。

2. 人口の移り変わり

戦後の昭和22～24年はベビーブームにより人口が増加し、ピーク時は1万6千人を超えましたが、その後は、減少を続け、出生数が減ったためと、若者の都市への流出と核家族化も進み老人家庭が多くなりました。

現在は総人口が6,000人を割り込み、高齢化率(65歳以上)が45%を超えました。高齢者人口は平成14年をピークに平成15年からは減少に転じました。しかし75歳以上人口は今後、しばらくは増加していく見込みです。若年人口である14歳以下は約500人で人口に占める割合は8.5%です。支える世代である生産年齢構成比率は46%で支えられる世代を下回っています。





(全体的に高齢化が進んでいること、若手労働力(次世代)の供給が少ないことがわかる)

第1章 地域資源を活かした産業の進化

1. 農業の振興

— 略 —

2. 林業の振興

【現状と課題】

日南町の国有林を含む**森林面積は30,231ha**で**総面積の89%**を占めています。これらの森林は多面的な機能を有し、国民の生活に重要な役割を果たしています。地球温暖化防止に関する京都議定書の発効により、森林の経済的評価はますます高まり、地域林業の果たす役割も重要になっています。

私有林面積は28,920haで、そのうちスギを主体とした**人工林の面積は18,061ha**であり**人工林率63%**と県平均の54%を上回っています。森林立木の蓄積は膨大なものになりつつあり、この森林資源の有効活用による地域経済に果たす役割は計り知れないものがあります。

日南町林業も、造林の時代から、伐採・加工・流通中心の時代となっていますが、近年の木材価格の下落等による採算性の悪化に加え、経営コストの上昇、林業従事者の減少と高齢化により、林業生産活動が全般にわたって停滞し、**人工林の8割を占める要間伐林(4～7齢級)の間伐、保育等が適正に実施されていないのが現状**です。そのため、一昨年に作成した「日南町特定間伐等促進計画」では、平成24年度までの5ヶ年間で**4,073ha(年平均815ha)**の間伐等を目標としていますが、伐採・搬出コストを縮減するために、国・県等の補助事業を活用しながら、**林内作業用道路の整備、低コスト林業機械の整備等の基盤整備を図る**必要があります。

さらに、木材需要の拡大を図るため、素材販売はもとより付加価値を付けた木材の販売も引き続き推進していく必要があります。そのため、昨年から本稼働した**株式会社オロチの「単板積層材(LVL)の製造と販売、木質バイオマスの利活用」の促進**と、その素材安定供給を目的に設立された「**日南町木材生産事業協同組合**」の**体制強化**を図る必要があります。

町内の林業従事者は高齢化等により年々減少しており、**新規従事者の育成と確保**が重要な課題となっています。また、森林の有する多面的機能の持続的発揮や効率的な林業経営の推進に必要な、技術及び知識を持った人材の育成が必要です。

しいたけ生産量は、生産者の高齢化・価格低迷等により、この5年間で乾しいたけ・生しいたけあわせて**25,870kg**から**5,911kg**に激減しています。クヌギ造林は町内各地にあります。適正な管理が行われていないために安定した原木供給ができず、ほだ木等の材料・資材の生産費に占める割合が高いのが現状です。

【今後の取り組み】

- 森林基本計画に基づいた森林施業計画の着実な施行を図るため、森林整備の長期施業システムの構築を図ります。
- 林道と作業道の整備、高性能林業機械の導入を促進し、木材生産コストの縮減を図ります。
- 就労環境の改善による若者の新規林業参入の促進と新しい担い手、経営意欲の高い林業従事者を支援します。
- 町産材の利用拡大のために、木造住宅の建築の推進と公共建築への木材利用を促進するとともに、LVL等付加価値を付けた販路拡大とその継続的な流通システムの確立を図ります。
- 循環型林業への取り組み、及び半数以上が山林に放置されている間伐材等を含めた木材資源（未利用エネルギー）の利活用を図ります。
- 森林の保健休養機能等に配慮し、町有林を散策するエコツアーリズム等地域の活性化を図ります。
- 森林認証（FSC）取得を推進し、日南町の森林環境保全とブランド化をめざします。
- 収益性の高いしいたけ生産をめざし、山林所有者・しいたけ生産者・関係団体が連携して、安価で安定した原木供給ができる体制整備を図ります。

（以下 略）

日南町の林業後継者対策について

㈱グリーンシャイン

会社設立 平成 2年 7月 2日
代表取締役 平田広志 従業員 13名
年間売上高 約90百万円
平成22年度受け入れ状況 ー
平成21年度受け入れ状況 1名
平成20年度受け入れ状況 3名
緑の雇用実績 卒業3名、研修中 2名



日南町地域振興公社

林業研修生の採用状況と活動状況

平成21年度採用 3名 研修途中で就職者1名、他部門で就職1名、家庭の事情により中途終了1名
平成22年度採用・研修中 2名
平成23年度採用・研修中 4名





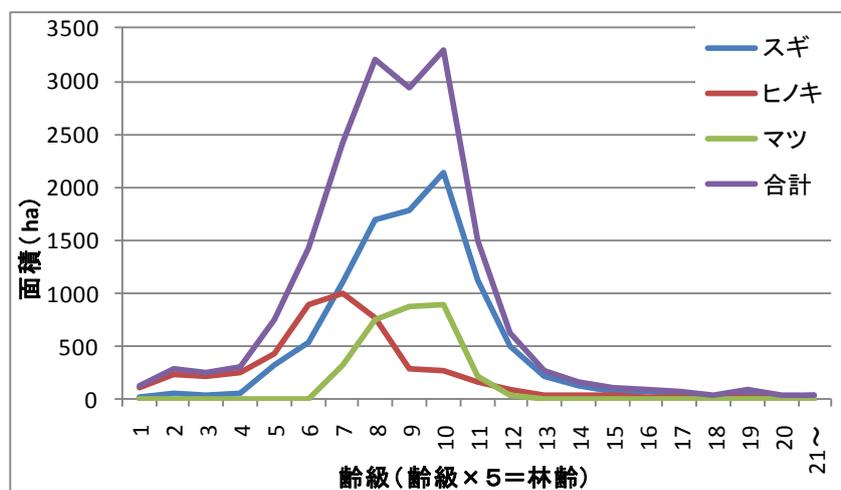
統計データ等日南町の森林について

林野面積は 30,231ha で林野率は 88.7%、立木の蓄積材積は、513 万 m³、年間成長量は 12 万 m³。

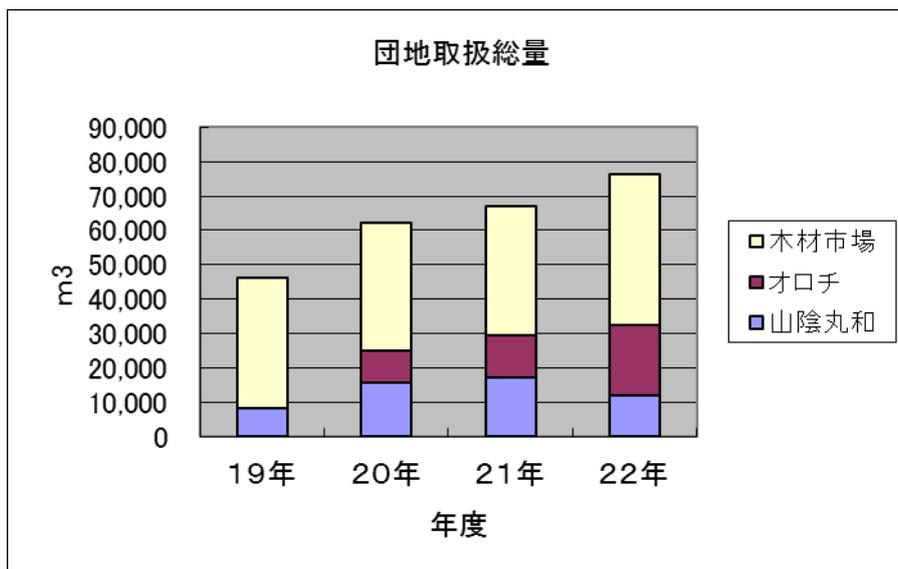
平成 21 年度の伐採搬出量は 5 万 8 千 m³であり、年間成長量と比較するとまだまだ十分な伐採とはいえないが、鳥取県間伐材持ち出し支援事業の補助金（21 年度は m³あたり 3,900 円、22 年度は ）高性能林業機械の導入、作業道の開設等により間伐が進み、森林の整備がなされている。林家の保有状況は面積 5ha 未満が全体の 66%を占め、50ha を超える大規模林家はわずか 10 戸を数えるのみである。

国有林は 1,311ha、民有林は 28,889ha、そのうち人工林は 18,061ha、人工林率は 62.52%、樹種別ではスギが多く、齢級別では 10 齢級以下が多い。

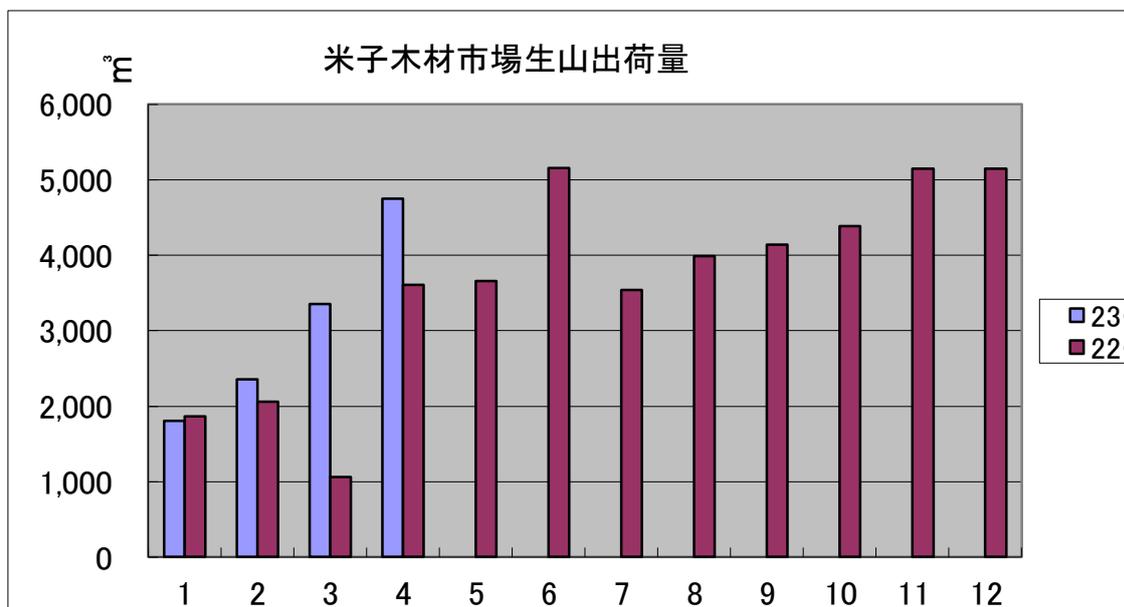
日南町の樹種別・齢級別の面積現況



木材取り扱い状況



取扱場所	19年	20年	21年	22年
山陰丸和	8,383	15,597	17,064	11,968
才口子	0	9,600	12,300	20,500
木材市場	37,865	37,013	37,828	43,764
合計	46,248	62,210	67,192	76,232



日南町の概要

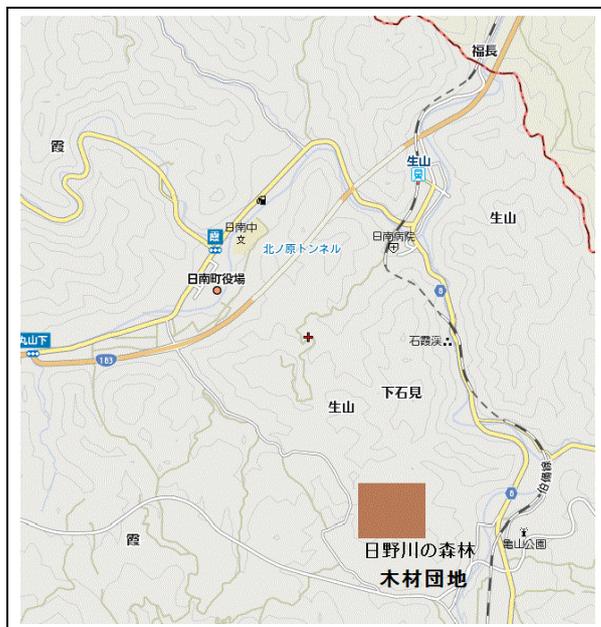
日南町は島根県、広島県、岡山県に接し鳥取県の西南端で中国地方4県のほぼ中央に位置する、町の面積は34,087km²東西25Km、南北23Km、鳥取県の面積の10分の1を有する、鳥取三大河川のひとつ日野川の源流の町である。

標高300mから800mの位置に集落が点在し、人口は約5,800人。冬期間には多い年で1mの積雪となる豪雪地域でもある。

林業を中心に、農業、わずかに商業、そして現在成長産業として、皮肉なことに高齢者のための福祉事業である。

地域の産業として、古くは品質に優れたたたら製鉄と、薪炭業が盛んであったが、国内有数のクローム鋼の産出もあり、森林林野に関連した産業が経済活動の大きな柱であった。本町において、戦後、拡大造林を進めた結果、約18,000haの人工林は、現在次々と伐期を迎えつつある。

日野川の森林 木材団地 所在地



団地内区画図



NPO 法人フォレストアカデミージャパン

平成23年5月19日 作成